

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年2月14日 (2008.2.14)

【公開番号】特開2005-215682(P2005-215682A)

【公開日】平成17年8月11日 (2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2005-031

【出願番号】特願2005-19786(P2005-19786)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

C 0 8 G 63/688 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

G 0 3 G 9/09 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08 3 8 1

C 0 8 G 63/688

G 0 3 G 9/08

G 0 3 G 9/08 3 7 2

G 0 3 G 9/08 3 7 4

G 0 3 G 9/08 3 7 5

G 0 3 G 9/08 3 3 1

G 0 3 G 9/08 3 6 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月25日 (2007.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

温水にポリマーを加え、着色剤分散体を加えた後、凝集剤を加え、得られた混合物を、ポリマーガラス転移温度より高い温度に加熱して、凝集および合体を生じさせ、次いで、アルミナ粒子を加える方法であって、前記ポリマー、前記着色剤、前記凝集剤および前記アルミナからなる粒子を生じる方法。

【請求項 2】

前記混合物を、ポリマーガラス転移温度より高い温度に加熱して、凝集および合体を生じさせた後、冷却および乾燥することを含む、請求項 1 の方法。

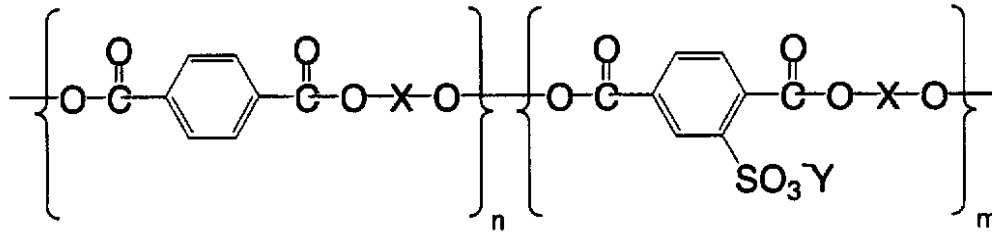
【請求項 3】

前記アルミナが、前記粒子の表面に存在する、請求項 1 または 2 の方法。

【請求項 4】

前記ポリマーが、ポリエステル

【化 1】



であって、

式中、Yはアルカリ金属、Xはグリコール、nおよびmはそれぞれセグメントの数を表す、請求項1～3のいずれか1項の方法。

【請求項5】

前記Tgより高い温度での加熱が、70 ～ 95、または75 ～ 90であり、前記ポリマーが非ポリエステルである、請求項1～3のいずれか1項の方法。

【請求項6】

40より高く100度未満の温度の水の存在下で、ラテックス凝集剤および着色剤の混合物を、前記ラテックスに含まれるポリマーのほぼガラス転移温度Tgより低い温度で加熱し、その後、ポリマーTg温度よりも高い温度で第2の加熱を行うこと、次いで少なくとも4重量%の量のアルミナ粒子添加すること、を含むトナー調製プロセス。